

第2章 高齢者の在宅生活を支えるサービスの充実

第1節 認知症になっても安心して暮らせる体制の構築

① これまでの取り組みと現状

本市は、65歳以上の人口に占める認知症高齢者の割合が令和元年10月現在12.1%となっており、今後は団塊の世代が75歳以上となる2025年、団塊の世代ジュニアと呼ばれる世代が65歳となる2040年に向けて、介護を必要とする高齢者の増加傾向にあるため、認知症高齢者数も増加することが予想されます。

認知症になっても、地域で安心して住める取り組みとして、早期発見の取り組みとして認知症初期集中支援チーム員による支援や、認知症高齢者早期発見促進事業を実施してきました。

若年性認知症の方への支援については、医療機関から県が実施する若年性認知症相談窓口を経由して、霧島市地域包括支援センターへの情報提供を受け、支援している状況です。

② 課題

- 通いの場等における認知症予防の取り組みの推進
- 本人ミーティングによる、本人発信の支援
- 早期発見・早期介入・早期支援に関する取り組み
- 若年性認知症の方への支援、普及・啓発
- 認知症を地域で支える取り組み
- 認知症ケアパス等による地域資源の普及・啓発

③ 基本事業の方向性

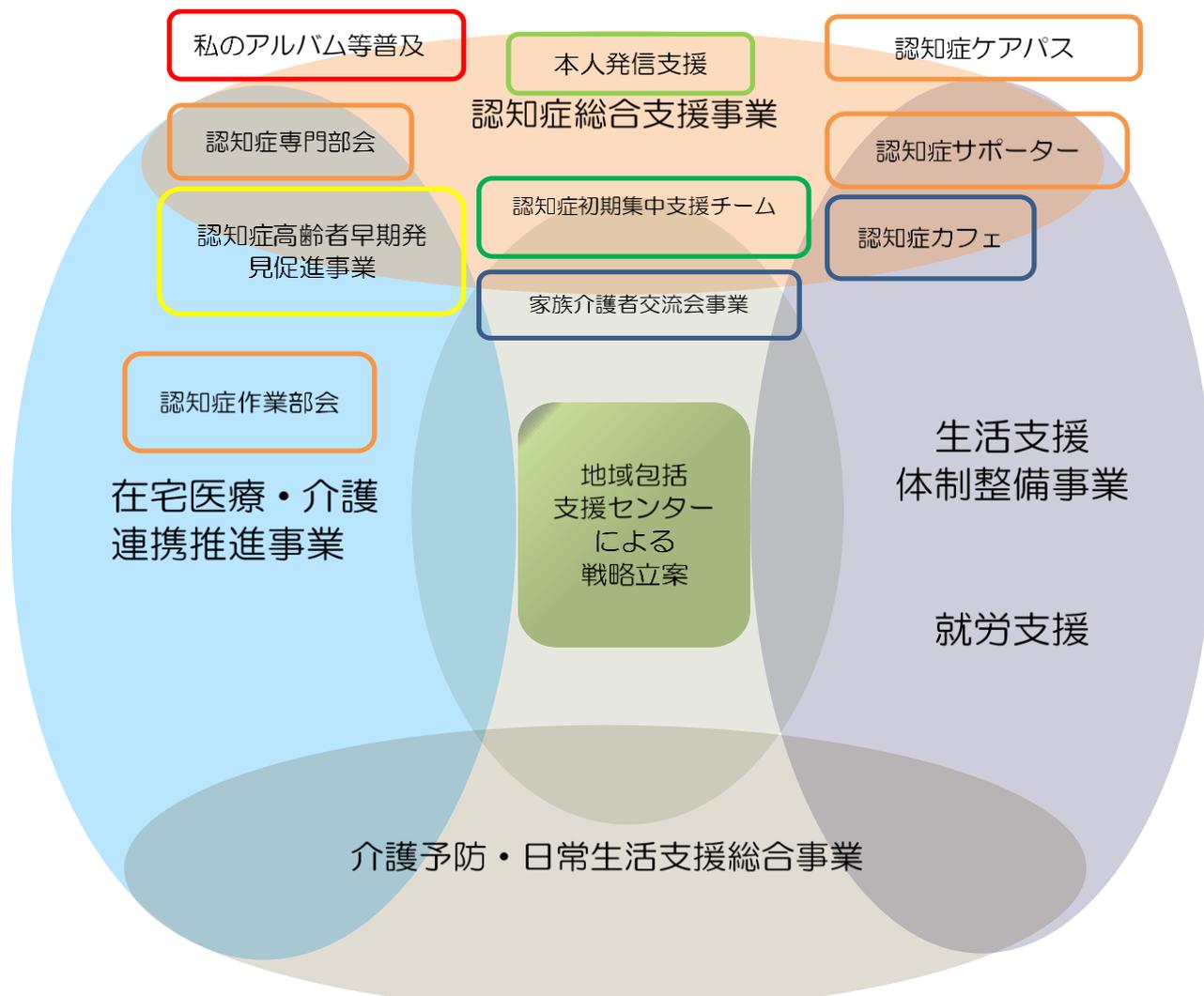
認知症は誰もがなりうることから、認知症の方やその家族が地域のよい環境で自分らしく暮らし続けるためには、認知症への社会の理解を深め、地域共生社会を目指す中で、認知症があってもなくても、同じ社会の一員として地域をともに築いていくことが重要です。

そのために、認知症の方や介護者、医療機関や介護保険事業所等の実態把握等を行い、本市の認知症支援の課題を明確にし、具体的な施策につなげることを目指します。

また、相談窓口の周知を図り、気軽に相談できる地域づくりを推進し、認知症の方に寄り添った支援を目指します。

1 認知症高齢者対策の拡充

本市では、認知症高齢者対策として関係機関と行政が連携を取り合い、一体となって早期発見・早期対応に継続して取り組み、認知症の方への伴走型の支援体制が取れるようにニーズに寄り添った支援体制の拡充と総合的な認知症対策の推進を図ります。



資料) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社平成30年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「地域支援事業における連動性の確保に関する調査研究」報告書概要版を基に加工

2 本人発信支援・本人ミーティング

認知症の人本人が、自分の希望や必要としていること等を本人同士で語り合う「本人ミーティング」の取り組みについて、現在、認知症当事者やその家族と接し支援を行っている介護保険サービス事業所等と連携し、当事者の意見の把握を行ってまいります。認知症の人本人の視点を認知症施策の企画・立案や評価に反映するよう努めます。

3 認知症共生に向けた取り組み

(1) 認知症カフェ

事業概要	<p>認知症の方とその家族、また、地域住民や専門職など誰もが気軽に集うことができる場所となり、認知症の方とその家族が安心して過ごすための地域で支える出発点となるものです。</p> <p>同時に、認知症サポーター等の活躍の場、チームオレンジの活動拠点となってさらに場を増やしていくことを目指します。また、今後も実施体制の継続した支援を行います。また、カフェの中で、認知症の人本人が自らの言葉で希望や生きがいの発信を支援することを目指します。</p>		
事業区分	認知症総合支援事業		
対象者	認知症が疑われる方や認知症の方、及びその家族	開始年度	2016(平成28)年度
事業関係者	認知症対応型通所介護、認知症疾患医療センター		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	設置箇所数	2箇所	10箇所

(2) 私のアルバム等の活用・普及啓発

事業概要	<p>認知症の方の個性、想い、人生の歴史等を持つ主体として尊重し、できる限り各々の意思や価値観に共感し、できないことではなく、できることやできる可能性のあることに目を向けて、本人が有する力を最大限に活かしながら、地域社会の中で本人のなじみの暮らし方やなじみの関係が継続できるよう、伴走者として支援していくことが重要である。そのツールとして、私のアルバムやマイライフノート（県医師会作成）等を活用し、本人の理解の促進を図ります。</p>		
事業区分	地域支援事業 包括的支援事業（社会保障充実分）認知症総合支援事業		
対象者	認知症が疑われる方や認知症の方、及びその家族	開始年度	2010(平成22)年度
事業関係者	霧島市地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	私のアルバム等の配布数	——	1,500部

4 早期発見・早期介入・早期支援に向けた取り組み

(1) 認知症高齢者早期発見促進事業

事業概要	<p>認知症の疑いのある方に、もの忘れ外来受診券を発行し、認知症の早期発見・早期治療を促進する事業です。</p> <p>令和2年度より後期高齢者医療の事業である長寿健診の間診票の認知機能に関する設問の該当者に対して、医療機関受診を勧奨する流れを作成しました。</p> <p>今後は、もの忘れ外来の利用が増え、認知症の早期発見につながっていくよう、継続して支援を行っていきます。</p>		
事業区分	保健福祉事業		
対象者	認知症が疑われる方	開始年度	2011(平成23)年度
事業関係者	受託医療機関 認知症初期集中支援チーム(霧島市地域包括支援センター)		
事業評価指標(活動指標)	令和元年度実績	目標(見込)	
受診券発行数	5枚/年	50枚/年	

(2) 認知症初期集中支援推進事業

事業概要	<p>認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援を行うことを目的として、「認知症初期集中支援チーム」を霧島市地域包括支援センター内に配置しています。</p> <p>今後も、若年性認知症への対応も含め、早期診断に繋がるように、霧島市地域支援センター職員と連携しながら、ケースワークに取り組みます。</p>		
事業区分	地域支援事業 包括的支援事業(社会保障充実分) 認知症総合支援事業		
対象者	認知症が疑われる方や認知症の方、及びその家族	開始年度	2018(平成29)年度
事業関係者	認知症初期集中支援チーム(霧島市地域包括支援センター)		
事業評価指標(活動指標)	令和元年度実績	目標(見込)	
相談件数	111件/年	120件/年	
チーム員会議検討数	99件/年	110件/年	

5 若年性認知症の人への支援、普及・啓発

(1) 若年性認知症の人への相談支援

事業概要	<p>県の相談窓口には配置されている、若年性認知症支援コーディネーターと連携した支援を継続して行ってまいります。</p> <p>若年性認知症の人とその家族、また、地域住民や専門職など誰もが気軽に相談できる相談機関として霧島市地域包括支援センターの普及・啓発をいたします。</p>		
事業区分	認知症総合支援事業		
対象者	若年性認知症が疑われる人や若年性認知症の人、及びその家族	開始年度	——
事業関係者	霧島市地域包括支援センター		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	相談件数	——	50件

6 認知症を地域で支える取り組み

(1) 認知症サポーター養成

事業概要	<p>認知症に対する正しい知識と理解を持ち、認知症の偏見をなくし、地域の中で認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、地域住民・学校・商工事業所等の方々が認知症の方々の適切な支援が行えるように正しい理解を深めていくための支援を行っています。</p> <p>今後は、幅広い世代を対象に講座を開催し、さらなる養成を進めるとともに、養成した認知症サポーターがステップアップとして、介護予防ボランティア等に参画するなど、活動の活性化を図ります。</p>		
事業区分	地域支援事業 任意事業 その他の事業		
対象者	市民	開始年度	2008(平成20)年度
事業関係者	認知症地域支援推進員（霧島市地域包括支援センター）、認知症キャラバンメイト		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	認知症サポーター養成数	15,765人	19,000人

(2) 認知症高齢者等見守りネットワーク事業

事業概要	<p>認知症の人が住み慣れた場所で安心して住み続けられるように、地域の関係機関や地域住民が理解しあい、力を合わせて、認知症の人等を支援する仕組みをつくります。</p> <p>地域の取り組みとして、認知症の人を支援するためのSOS模擬訓練等を行います。</p> <p>また、日常的に家庭訪問を行うなど、高齢者等と関わることが多い団体や民間の事業所と連携した認知症高齢者等見守りネットワークを構築し、異変への対応や、また認知症高齢者等が行方不明になった際に、見守りアプリ等のICTを活用した検索等の仕組みづくりを目指します。</p>		
事業区分	地域支援事業 任意事業 家族介護支援事業		
対象者	地縁団体	開始年度	2015(平成27)年度
事業関係者	霧島市地域密着型サービス事業者連合会、霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー、認知症サポーター		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	認知症高齢者等見守りネットワーク会議の開催	——	年2回

(3) 霧島市認知症専門部会の開催

事業概要	<p>本市では、認知症疾患医療センター長、認知症初期集中支援チーム認知症サポート医、薬剤師会会長、歯科医師会会長、認知症カフェ開催者、県保健師、家族会会長等からなる「霧島市認知症専門部会」を立ち上げました。年に2回部会を実施し、市の実施事業の有効性や改善点の検討、今後展開が望まれる事業の検討を行い、問題解決につなげます。</p> <p>今後も継続して実施いたします。</p>		
事業区分	認知症総合支援事業		
対象者	——	開始年度	2019(令和元)年度
事業関係者	認知症疾患医療センター長、認知症初期集中支援チーム認知症サポート医、薬剤師会会長、歯科医師会会長、認知症カフェ開催者、県保健師、家族会会長等		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	開催数	2回/年	2回/年

7 認知症ケアパス等による地域資源の普及・啓発

(1) 認知症ケアパス

事業概要	<p>認知症ケアパスとは、「認知症の人の状態に応じたサービス提供の流れ」を示したもので、認知症ではないかと思った時や認知症と診断を受けた時に、どこに相談すればよいか、どのような制度が使えるかなどの情報をまとめたものとなります。</p> <p>本市ホームページに公開しているほか、関係機関等へ配布を行うことで周知に努めていくとともに、本市の社会資源等の状況が変化した場合など必要に応じ改訂を行います。</p>		
事業区分	<p>地域支援事業 包括的支援事業（社会保障充実分） 認知症総合支援事業</p>		
対象者	<p>一般市民 認知症を支援する関係者 認知症の人及びその家族</p>	開始年度	2020(令和2)年度
事業関係者	<p>霧島市地域包括支援センター、医療機関、介護サービス事業者、認知症サポーター</p>		
事業評価指標（活動指標）	令和2年度実績	目標（見込）	
設置箇所数	385箇所	400箇所	

本市の認知症ケアパス

~認知症になっても自分らしく暮らし続けるために~

霧島市 認知症ケアパス

R 2年 4月発行

認知症を正しく知ろう その① 「認知症は“脳の病気”」

認知症は誰もが発症する可能性がある病気です。発症すると完治が難しくされています。

様々な原因で、脳が萎縮したり、ダメージを受けることで日常生活に支障をきたすようになります。

認知症を正しく知ろう その③ 「認知症の症状について」

- ① 記憶障害 … ついさっきしたことや聞いたことを覚えていられなくなる。
- ② 見当識障害 … 時間や季節や場所、やがては身近な人のこともわからなくなる。
- ③ 理解、判断力の障害 … 考えるスピードが遅くなったり、理解判断力が低下する。買物で小銭での支払いも難しくなる。
- ④ 実行機能障害 … 何をどのようにするかなど、計画だてたり、段取りよくできなくなる。

その他 … 認知症の種類によって、性格の変化や幻視、睡眠障害など

*さらに上記の症状に対して、本人の性格や体調・周りの人の関わりあい方で、不安や焦りがついたり、興奮したり、うつ状態になることがあります。

*認知症について市が制作した動画があります。動画共有サイトYouTube「きりしまチャンネル」から視聴できます。

認知症を正しく知ろう その② 「認知症患者は増加傾向！」

認知症患者は、国の統計によると全国で2012年は462万人(65歳以上の7人に1人)、2025年には700万人(65歳以上の5人に1人)を超えると予想されています。

認知症を正しく知ろう その④ 「認知症の経過について」

健康 → 軽度認知症 → 認知症

「**軽度認知症**」は認知症の一手前の状態、認知症予備軍です。65歳以上の4人に1人の割合ともいわれています。予防や治療で改善する可能性があります。何もしなければ、認知症を発症するリスクは高くなります。

認知症を正しく知ろう その⑤ 「生活の中で大切なこと♪」

生活を見直す5つのポイント！

- ① バランスのよい食事をとろう♪ → ご飯などの炭水化物は体のエネルギー源に、お肉やお魚は体の筋肉をつくる材料に。野菜・果物はビタミンやミネラルが豊富です
- ② 体と頭の運動をしよう♪ → 適度に体を動かして体力が落ちないようにしましょう。新しいことにチャレンジして脳にも良い刺激を♪
- ③ 質の良い睡眠をとろう♪ → 体と脳を休めて疲労をためないようにしましょう
- ④ 交流の機会を持とう♪ → 地域とつながることで、楽しみや安心できる関係性をもって生活を返りましょう
- ⑤ 病気の早期発見・治療につとめよう♪ → 症状が進行する前に発見することで、発症を防いだり、発症しても進行を遅らせることができる可能性があります

認知症の進行について

認知症の経過は個人差があります。目安としてご参照ください。下記はほぼ発症から経過した進行している状態です。

本人(私)の様子

軽度認知症

- 日常のことは自分でできているが、もの忘れが増えた。
- 今までしていた家事に時間がかるようになったり、やる気がなくなってきた。
- 以前より趣味やおしゃべりに興味が無くなってきた。

認知症初期

- 同じことを何度も聞いたリ話したりするようになった。
- 習った場所がわからず、探し回ることが多くなった。
- 予定が自覚を間違えることが増えた。
- 顔こがしや失の消し忘れをするようになった。

認知症中期

- 季節にあった洋服を選ぶことができなくなってきた。
- 靴の着かたがわからないことがある。
- 外出先から戻れなくなることがある。
- トイレの場所がわからず失敗することがある。

認知症(後期)

- 言葉によるコミュニケーションが難しくなってきた。
- 家族の顔がわからなくなってきた。
- 歩行が難しくなり、寝たきりの状態となる。

項目	内容	窓口																																			
社会参加	いつまでも元気で過ごすために、公認講座の集まりなどに行ってみませんか？ ・趣味やできることを活かしてみませんか？ ・ボランティア活動やお仕事をしてみませんか？ ・認知症のことについて学び、地域で活動してみませんか？	興味があるという方は、霧島市社会福祉協議会(☎45-1557)地域福祉課へ 認知症サポーター養成講座 → 霧島市地域包括支援センター(☎48-7979)へ																																			
相談	・認知症の方・介護しているご家族・支える地域の方で交流をしませんか？ ・身近な相談所を利用しませんか？ ・65歳未満の方で、もの忘れなどの不安、悩みがありませんか？	・家族介護者交流会 → 霧島市地域包括支援センター(☎48-7979)へ ・認知症のひとと愛の会(☎099-257-3887)へ 市内の介護事業所に研修を受けた職員がいる「まちかど介護相談所」が約80か所あります。QRコードで検索。または、地域包括型サービス事業推進委員会事務局(☎48-6877)まで 若年性認知症相談窓口(☎099-251-4010)へ																																			
医療	・認知症の診断などの相談を希望しますか？ ・『もの忘れの相談ができる医師がいる病院』 ・『もの忘れ外来受診券が利用できる病院』…霧島市民の認知症早期発見・治療のために地域包括支援センターが発行する受診券です。 ・『認知症リポート隊がいる病院』…国の研修を終了し、かかりつけ医への助言等の支援をおこなうなど役割を担います。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>市外局番 (0995)</th> <th>霧島</th> <th>市外局番 (0995)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● かとう医院 霧島 46-9111</td> <td>● 伊東内科クリニック トノ 72-9088</td> </tr> <tr> <td>● 清水内科 霧島 47-7173</td> <td>● 大原医院 塩屋中 76-1984</td> </tr> <tr> <td>● 協栄医院 霧島 45-6211</td> <td>● 海島健ヶ丘病院 高千穂 78-3135</td> </tr> <tr> <td>● 石塚内科・胃腸内科 中津 45-0419</td> <td>● 霧島杉安病院 甲口 57-1221</td> </tr> <tr> <td>● 穂木医院 中津 45-0011</td> <td>● 竹田医院 甲口 57-0011</td> </tr> <tr> <td>● 国分中央病院 中津 45-3085</td> <td>● たくしん病院 内山田 42-0320</td> </tr> <tr> <td>● プライムケアむろ内科 野口西 46-6611</td> <td>● 原口外科 内山田 42-0156</td> </tr> <tr> <td>● 井科クリニック 広瀬 46-9300</td> <td>● 集人脳神経外科 小世 73-5353</td> </tr> <tr> <td>● 国分外科胃腸科 赤中街 47-2311</td> <td>● ハートフル集人病院 住吉 42-3121</td> </tr> <tr> <td>● 三輪クリニック 霧島 73-3138</td> <td>● 浜崎医院 東津 42-0349</td> </tr> <tr> <td>● 昭徳クリニック 霧島 54-0711</td> <td>● 日山山崎生薬子クリニック 塚城 43-3111</td> </tr> <tr> <td>● 国分脳神経外科 向花 54-0059</td> <td>● 熱心内科小児科クリニック 松永 54-2222</td> </tr> <tr> <td>● 佐藤医院 有川 59-2607</td> <td>● 集人温泉病院 桜城 42-2151</td> </tr> <tr> <td>● とくどくクリニック 霧 64-1717</td> <td>● 松下病院 高草 42-2121</td> </tr> <tr> <td>● 徳永医院 霧 58-2302</td> <td>● 八木クリニック 福山 56-3000</td> </tr> <tr> <td>● せき院 有川 59-2019</td> <td>● 福山病院 福山 55-2221</td> </tr> </tbody> </table>	市外局番 (0995)	霧島	市外局番 (0995)	● かとう医院 霧島 46-9111	● 伊東内科クリニック トノ 72-9088	● 清水内科 霧島 47-7173	● 大原医院 塩屋中 76-1984	● 協栄医院 霧島 45-6211	● 海島健ヶ丘病院 高千穂 78-3135	● 石塚内科・胃腸内科 中津 45-0419	● 霧島杉安病院 甲口 57-1221	● 穂木医院 中津 45-0011	● 竹田医院 甲口 57-0011	● 国分中央病院 中津 45-3085	● たくしん病院 内山田 42-0320	● プライムケアむろ内科 野口西 46-6611	● 原口外科 内山田 42-0156	● 井科クリニック 広瀬 46-9300	● 集人脳神経外科 小世 73-5353	● 国分外科胃腸科 赤中街 47-2311	● ハートフル集人病院 住吉 42-3121	● 三輪クリニック 霧島 73-3138	● 浜崎医院 東津 42-0349	● 昭徳クリニック 霧島 54-0711	● 日山山崎生薬子クリニック 塚城 43-3111	● 国分脳神経外科 向花 54-0059	● 熱心内科小児科クリニック 松永 54-2222	● 佐藤医院 有川 59-2607	● 集人温泉病院 桜城 42-2151	● とくどくクリニック 霧 64-1717	● 松下病院 高草 42-2121	● 徳永医院 霧 58-2302	● 八木クリニック 福山 56-3000	● せき院 有川 59-2019	● 福山病院 福山 55-2221
市外局番 (0995)	霧島	市外局番 (0995)																																			
● かとう医院 霧島 46-9111	● 伊東内科クリニック トノ 72-9088																																				
● 清水内科 霧島 47-7173	● 大原医院 塩屋中 76-1984																																				
● 協栄医院 霧島 45-6211	● 海島健ヶ丘病院 高千穂 78-3135																																				
● 石塚内科・胃腸内科 中津 45-0419	● 霧島杉安病院 甲口 57-1221																																				
● 穂木医院 中津 45-0011	● 竹田医院 甲口 57-0011																																				
● 国分中央病院 中津 45-3085	● たくしん病院 内山田 42-0320																																				
● プライムケアむろ内科 野口西 46-6611	● 原口外科 内山田 42-0156																																				
● 井科クリニック 広瀬 46-9300	● 集人脳神経外科 小世 73-5353																																				
● 国分外科胃腸科 赤中街 47-2311	● ハートフル集人病院 住吉 42-3121																																				
● 三輪クリニック 霧島 73-3138	● 浜崎医院 東津 42-0349																																				
● 昭徳クリニック 霧島 54-0711	● 日山山崎生薬子クリニック 塚城 43-3111																																				
● 国分脳神経外科 向花 54-0059	● 熱心内科小児科クリニック 松永 54-2222																																				
● 佐藤医院 有川 59-2607	● 集人温泉病院 桜城 42-2151																																				
● とくどくクリニック 霧 64-1717	● 松下病院 高草 42-2121																																				
● 徳永医院 霧 58-2302	● 八木クリニック 福山 56-3000																																				
● せき院 有川 59-2019	● 福山病院 福山 55-2221																																				
生活・介護支援	・入浴や家事などの支援が必要ですか？ ・認知症のことで、相談したいことがありますか？ ・介護保険サービス(デイサービス・訪問看護・短期入所・福祉用具レンタル購入・住宅改修)や入居施設のことでも相談したいことがありますか？ ・運転に不安がありますか？ ・生活に必要なお支払いや不利益な契約などで相談したいことがありますか？	霧島市地域包括支援センター 本所 ☎48-7979 支所 国分北 ☎64-0667 半人北 ☎55-1255 高島 ☎57-0100 津辺 ☎58-2365 国分南 ☎46-3717 半人南 ☎43-2363 福山 ☎64-7165 霧島 ☎72-9718 松原 ☎78-3387 ・安全運転の相談 → 安全運転相談ダイヤル(☎24080)へ ・運転免許自主返納 → 霧島警察署交通課(☎47-2110)へ ・ドライバーレコーダーの貸出 → 霧島市後援安心安全課(☎45-5111)へ ・成年後見制度 ・日常生活自立支援事業 } 霧島市社会福祉協議会(☎45-1557)へ ・消費生活に関するトラブル → 商工振興課内 霧島市消費生活センター(☎64-0964)へ																																			

その他、陪審サービス・福祉タクシー・移動販売・ボランティア団体など、また各サービスの詳細は、インターネット「**霧島市地域包括支援情報サイト**」もしくは右のQRコードで検索をしてみてください。最新情報を公開しています。

ご家族・介護者の気持ち

- 家族や知人が認知症であることとまどいやすさを感じる気持ちがある。
- 悩みを誰にも打ち明けられないで一人で悩むことがある。
- 介護のために仕事や社会参加の機会が難しいと感じることがある。
- 自分だけが気づき、振り回されて疲れていると感じることがある。

当ではあるものが多いほど、介護負担が生じている可能性があります。一人で悩まず、相談しましょう

お問い合わせ先 霧島市地域包括支援センター(☎48-7979)まで

第2節 在宅生活を支える支援体制の拡充

① これまでの取り組みと現状

平成30年度から、介護認定を受けた方への自立支援・重度化防止に向けた支援と、介護支援専門員等のケアマネジメント支援を目的に地域ケア個別会議を開始しました。

会議に参加する専門職は医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、リハビリ専門職等の12職種で、各専門職の視点からケアプランを検討することにより、専門的な気づきを得ることができ、ケアプランに反映することができました。また、参加する介護支援専門員等やサービス提供事業所の連携も図れる機会となりました。

令和元年度からは、地域ケア個別会議の実施回数を増やし、検討するケアプラン数も増え、介護認定を受けた方の生活課題の情報を共有しました。

また、地域共生社会の実現に向けて、相談支援体制の強化を目的に、まちかど丸ごと相談所を設置し、高齢者に限らず、子どもや障害者等の相談への対応力の強化を図り、更に、包括的相談支援体制の整備を目的に、こども・くらし相談センターを開設し、霧島市地域包括支援センターの職員を配置しました。

加えて、在宅生活を支える支援体制として医療と介護が両方必要とする方への切れ目ない支援として、医療機関と介護事業所等の連携体制を関係機関と協議してまいりました。

② 課題

- 地域ケア個別会議で得られた介護認定を受けた方の生活課題とそれを踏まえた本市の地域課題の抽出
- 生活支援・介護予防サービスの基盤整備を推進
- 包括的相談支援体制の強化
- 在宅医療・介護連携体制の充実

③ 基本事業の方向性

地域包括ケアシステムの構築を進めるにあたっては、地域ケア個別会議により、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を図っていくことが重要です。地域ケア個別会議で得られた生活課題や地域課題の要因を探り、自立支援に資するケアマネジメント支援や、多職種協働によるネットワークの構築、資源開発等に取り組み、霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー等と協働で行う相談体制の強化を図ります。

在宅医療及び介護が円滑に提供される仕組みを目指し、特に看取りに関する取り組みや認知症の方への対応力の強化などに取り組み、関係機関等と課題を共有し推進します。

1 地域ケア会議の充実

(1) 地域ケア会議推進事業

事業概要	地域ケア個別会議では、ケアマネジメント支援及び個別事例の課題解決を目的に、多職種協働により実施します。また、関係者間の連携を深める機会となり、今後も重点的に実施していきます。そのために、地域ケア個別会議の運営の強化と、司会者、助言者の資質向上のための研修会を行います。 今後は、個別の検討で把握された地域課題の課題解決に向けた関係機関等への政策への提言を行ってまいります。		
事業区分	地域支援事業 包括的支援事業（社会保障充実分）		
対象者	介護支援専門員等プラン作成担当者、サービス提供事業所担当者等	開始年度	2018(平成30)年度
事業関係者	医師会・歯科医師会・薬剤師会等、各専門職団体 12職種 他		
事業評価指標（活動指標）		令和元年度実績（年間）	目標（見込）
プラン支援地域ケア会議（市・包括共催）		9回	6回
自立支援地域ケア会議（市・包括共催）		7回	48回
随時の地域ケア会議（包括主催）		92回	120回
地域包括支援ネットワークケア推進会議（包括主催）		20回	20回
地域ケア推進会議（市主催）		新規	年1回

地域ケア会議の5つの機能

	機能	概要
1	個別課題の解決	多職種が協働して個別ケースの支援内容を検討することによって、高齢者の課題解決を支援するとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める機能
2	地域包括支援ネットワークの構築	高齢者の実態把握や課題解決を図るため、地域の関係機関等の相互の連携を高め地域包括支援ネットワークを構築する機能
3	地域課題の発見	個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を浮き彫りにする機能
4	地域づくり資源開発	インフォーマルサービスや地域の見守りネットワークなど、地域で必要な資源を開発する機能
5	政策の形成	地域に必要な取り組みを明らかにし、政策を立案・提言していく機能

2 自立に向けた生活支援サービス

(1) 第1号訪問事業（訪問型サービスの概要と全体像）

事業概要	要支援者等に対して、要介護状態等となることの予防または状態の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施することにより、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるように居宅を訪問してサービスを実施します。		
事業区分	地域支援事業 総合事業 介護予防・生活支援サービス事業		
対象者	要支援認定者、事業対象者	開始年度	2017(平成29)年度
事業関係者	訪問介護事業所、シルバー人材センター		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
訪問型サービスA利用者数	57人	80人	

	実施中	実施中	実施中		
基準	従前の訪問介護相当		多様なサービス		
サービス種別	①訪問介護	②訪問型サービスA (緩和した基準によるサービス)	③訪問型サービスB (住民主体による支援)	④訪問型サービスC (短期集中予防サービス)	⑤訪問型サービスD (移動支援)
サービス内容	訪問介護員による身体介護、生活援助	生活援助等	住民主体の自主活動として行う生活援助等	保健師等による居宅での相談指導等	移送前後の生活支援
対象者とサービス提供の考え方	○既にサービスを利用しているケースで、サービスの利用の継続が必要なケース ○以下のような訪問介護員によるサービスが必要なケース (例) ・認知機能の低下により日常生活に支障がある症状・行動を伴う者 ・退院直後で状態が変化しやすく、専門的サービスが特に必要な者等 ※状態等を踏まえながら、多様なサービスの利用を促進していくことが重要。	○状態等を踏まえながら、住民主体による支援等「多様なサービス」の利用を促進	○状態等を踏まえながら、住民主体による支援等「多様なサービス」の利用を促進	・体力の改善に向けた支援が必要なケース ・ADL・IADLの改善に向けた支援が必要なケース ※3～6ヶ月の短期間で行う	訪問型サービスBに準じる
実施方法	事業者指定	事業者指定／委託	補助（助成）	直接実施／委託	
基準	予防給付の基準を基本	人員等を緩和した基準	個人情報保護等の最低限の基準	内容に応じた独自の基準	
サービス提供者(例)	訪問介護員 (訪問介護事業者)	主に雇用労働者	ボランティア主体	保健・医療の専門職 (市町村)	

(2) 第1号通所事業（通所型サービスの概要と全体像）

事業概要	要支援者等に対して、要介護状態等となることの予防または状態の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施することにより、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるようサービス事業所等してサービスを実施します。また、専門職が短期的かつ集中的に関与し生活課題を明らかにし、生活機能向上及びセルフケア能力の向上を図る通所型サービスC（短期集中型予防サービス事業）の取り組み強化を図ります。		
事業区分	地域支援事業 総合事業 介護予防・生活支援サービス事業		
対象者	要支援認定者、事業対象者	開始年度	2017(平成29)年度
事業関係者	通所介護事業所、市内企業・団体等		
事業評価指標（活動指標）	令和2年度実績	目標（見込）	
通所型サービスCの実施箇所	6箇所	10箇所	

	実施中			実施中
基準	従前の通所介護相当	多様なサービス		
サービス種別	①通所介護	②通所型サービスA (緩和した基準によるサービス)	③通所型サービスB (住民主体による支援)	④通所型サービスC (短期集中予防サービス)
サービス内容	通所介護と同様のサービス 生活機能向上のための機能訓練	ミニデイサービス 運動・レクリエーション等	体操、運動等の活動など、自主的な通いの場	生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラム
対象者とサービス提供の考え方	○既にサービスを利用しており、サービスの利用の継続が必要なケース ○「多様なサービス」の利用が難しいケース ○集中的に生活機能の向上のトレーニングを行うことで改善・維持が見込まれるケース ※状態等を踏まえながら、多様なサービスの利用を促進していくことが重要。	○状態等を踏まえながら、住民主体による支援等「多様なサービス」の利用を促進	○状態等を踏まえながら、住民主体による支援等「多様なサービス」の利用を促進	・ADL・IADLの改善に向けた支援が必要なケース ※3～6ヶ月の短期間で行う
実施方法	事業者指定	事業者指定 ／委託	補助（助成）	直接実施 ／委託
基準	予防給付の基準を基本	人員等を緩和した基準	個人情報の保護等の最低限の基準	内容に応じた独自の基準
サービス提供者(例)	通所介護事業者の従事者	主に 雇用労働者 +ボランティア	ボランティア主体	保健・医療の専門職 (市町村)

(3) 霧島市地域包括支援センター運営事業

霧島市地域包括支援センターは、地域包括ケア推進の中核機関として各節で掲げる現状・課題・基本事業の方向性を把握し事業間の連携・連動を意識した上で、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメントを一体的に運営します。

霧島市地域包括支援センターの運営は、業務量および業務内容に応じた適切な人員配置、霧島市地域包括支援センター間及び行政との業務の役割分担の明確化と連携強化、事業のPDCAの充実による効果的な運営を行い第三者委員会である運営協議会に諮りながら、複合的に機能強化を図っていきます。

① 総合相談支援業務

事業概要	<p>地域における適切な保健・医療・介護・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげる等の支援を行うことを目的として、地域におけるネットワークの構築、実態把握、総合相談支援、家族介護者支援を行っています。</p> <p>霧島市地域包括支援センターが主体となり、適切な相談支援活動を行うため、相談内容に応じてチーム内の複数の職種で対応し情報共有するチームアプローチによる体制を整えています。</p> <p>また、身近な相談場所の設置のため、日常生活圏域に支所を、連絡所として「まちかど介護相談所」「まちかど丸ごと相談所」を設置し、電話、来所による相談に随時対応しています。</p> <p>相談は多岐に渡り、消費者被害防止に関すること、判断能力の低下がみられる高齢者の支援に関すること、生活困窮者に関すること、更には、家族間トラブル及び障がい者世帯への支援の取り組みなど、多様なニーズに対応していくため、関係機関等との連携した相談体制・支援体制の確保を行っています。</p> <p>生活支援コーディネーター、霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカーと連携して、市全域、日常生活圏域、身近な地域の三層構造によるきめ細やかな相談ネットワークの構築に努めます。また、職員の資質向上のため研修等の受講や実施を行います。</p>		
事業区分	地域支援事業 包括的支援事業（霧島市地域包括支援センターの運営）		
対象者	市民	開始年度	2006(平成18)年度
事業関係者	霧島市地域包括ケア・霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー、生活支援コーディネーター		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
相談件数		7,932件 新規対応延件数 2,413件 継続対応延件数 5,470件	9,000件

② 権利擁護業務

事業概要	高齢者虐待および養護者への支援や、判断力の低下がある高齢者への支援などを行い、高齢者の尊厳ある生活が継続できるよう専門的継続的な視点から必要な支援を行います。		
事業区分	地域支援事業 包括的支援事業（霧島市地域包括支援センターの運営）		
対象者	市民	開始年度	2006(平成18)年度
事業関係者	成年後見センター（霧島市社会福祉協議会）、霧島市地域包括支援センター		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
成年後見・権利擁護に関する相談	106件	130件	
虐待に関する相談	30件	100件	

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

事業概要	個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントが実践されるよう、介護支援専門員・主治医ほか多職種相互の協働の取り組みを進め、地域ケア会議や研修会を活用しながら、個々の介護支援専門員に対する支援・資質向上を図ります。		
事業区分	地域支援事業 包括的支援事業（霧島市地域包括支援センターの運営）		
対象者	介護支援専門員	開始年度	2006(平成18)年度
事業関係者	居宅介護支援事業所		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
介護支援専門員研修会開催数	2回	2回	
介護支援専門員等の後方支援	52件	60件	

④ 介護予防ケアマネジメント業務

事業概要	要支援者等に対して、介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況、選択に基づき、適切なサービスが包括的・効率的に実施されるよう介護予防支援計画の作成、その他の必要な援助を行います。		
事業区分	地域支援事業 包括的支援事業（霧島市地域包括支援センターの運営）		
対象者	要支援認定者 総合事業対象者	開始年度	2006(平成18)年度
事業関係者	居宅介護支援事業所		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	作成プラン数（介護予防支援含む）	16,365件	16,500件

3 在宅医療・介護連携推進事業

(1) 在宅医療・介護連携推進事業

事業概要	高齢化が進展し、医療と介護の両方のニーズを有する高齢者の増加が予想される中で、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を図るために、始良地区医師会に事業を委託し、始良・伊佐地域振興局の支援を受け、霧島市、始良市、湧水町の2市1町に属する自治体及び関係機関と広域的に事業を展開しています。課題への取り組みとして、①認知症に関する支援体制の構築を図る、②終末期・看取りに関する在宅医療・介護の体制の構築を図る、③医療・介護関係者等の研修会等の実施を推進するためにそれぞれ3つの部会を設け推進してまいります。今後は市民への普及啓発に向けての取り組みも検討してまいります。		
事業区分	地域支援事業 包括的支援事業（社会保障充実分）		
対象者	市民、医療・介護従事者	開始年度	2016(平成28)年度
事業関係者	医師会、歯科医師会、薬剤師会、始良・伊佐地域振興局、始良市、湧水町他		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	入院時情報提供率	89.3%	95%
	退院時調整漏れ率	12.0%	10%

(2) 入退院支援コーディネーター

事業概要	霧島市地域包括支援センターに、入退院支援コーディネーターを2名配置（保健師が兼務）し、主に担当の介護支援専門員等がいない高齢者の入退院に関する支援を行います。市民や関係機関等への周知を図ってまいります。		
事業区分	地域支援事業 包括的支援事業（社会保障充実分）		
対象者	市民	開始年度	2017(平成29)年度
事業関係者	医療機関連携室、介護支援専門員		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	コーディネーター人数	2名	2名
	入退院支援コーディネート（延べ）	60件	80件

4 相談支援体制の整備・充実

(1) 消費生活相談事業

事業概要	<p>①消費生活相談事業</p> <p>消費者が安心して安全で豊かな生活を営むことができるように、消費生活センターに消費生活相談員を3名配置し対応しています。現在、高齢者のインターネットでの買い物トラブルや、ワンクリック詐欺、スパムメール被害、認知症高齢者の消費トラブルについても相談が多くなってきており、民生委員と協力し対応しています。</p> <p>また、消費者に対する教育活動として、出前講座や「消費者生活ビギナー塾」といった講座を実施しており、民生委員の研修会や自治会の集まりの場を通じて消費者意識の啓発を図っています。</p> <p>②地域見守りネットワーク</p> <p>関係各課との連携を図り、民生委員と地域見守り支援員を含めた地域見守りネットワークの構築を進めていきます。</p> <p>③広報活動</p> <p>ホームページや広報誌、FMきりしま等で消費トラブルに関する注意喚起や出前講座等の周知を行っています。</p>		
	事業区分	消費生活相談事業	
対象者	市民（一般消費者）	開始年度	2009（平成21）年度
事業関係者	商工振興課		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	相談件数	856件	950件
	出前講座数	17回	15回
	相談件数	9件	100件

(2) まちかど介護相談所・まちかど丸ごと相談所設置事業

事業概要	<p>霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカーが在籍する介護サービス事業所において、地域住民の方が身近なところで、高齢者福祉や介護に関する相談をはじめ、地域生活の困りごとについて気軽に相談できる相談所を設置します。</p> <p>これまでのまちかど介護相談所を共生社会対応型の相談所として位置づけ、霧島市地域包括支援センターを中心とした「早く専門職に出会い、伴走していく体制づくり」を進めていきます。</p> <p>今後も継続して支援していきます。</p>		
事業区分	地域支援事業 包括的支援事業 総合相談事業		
対象者	市民	開始年度	2012(平成24)年度
事業関係者	霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー、霧島市地域包括支援センター		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	相談件数	9件	100件

(3) 家族介護者交流会事業（家族介護支援事業）

事業概要	<p>家族を介護している者が、介護に対する悩みや不安の相談、介護者相互の交流の場を提供し、精神的なケアに努めています。</p> <p>また、家庭で介護を行う際のちょっとしたポイントなどを学ぶ研修の機会を設けており、在宅介護を行う家族介護者の負担軽減を図っています。</p> <p>今後は、より身近に相談ができるように、家族介護者同士の情報交換や相談できる場を日常圏域ごとに開催できるようなメニューの開発に取り組みます。</p>		
事業区分	地域支援事業 任意事業 家族介護支援事業		
対象者	家族介護者	開始年度	2013(平成25)年度
事業関係者	霧島市地域包括支援センター、霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	実施回数	6箇所	10箇所
	参加者人数	106人	150人

(4) こども・くらし相談センター

事業概要	<p>近年、福祉ニーズが多様化・複雑化している中、複合的な課題を抱える市民の相談に包括的に対応し支援するため、包括的相談支援体制として、令和2年4月に、暮らしの中で抱える様々な相談（主に福祉分野）に応じる窓口「こども・くらし相談センター『にじいろ』」を開設しました。</p> <p>引き続き、相談者が複数の相談窓口に赴くことなく複合的な悩みを総合的かつ円滑に相談できる体制を整え、相談者が抱える問題に応じた支援を包括的に提供できるよう必要な調整を図ります。</p>		
事業区分	——		
対象者	市民	開始年度	2020(令和2)年度

5 成年後見制度の利用促進に向けた取り組み

(1) 成年後見利用支援事業

事業概要	<p>身寄りのいない認知症高齢者等で、成年後見制度を利用することが困難な場合に市長が法定後見制度を使って後見開始の申立てを行います。また、制度を利用するにあたり費用を負担する事が困難な人に対して申立てに係る費用や後見人報酬に係る費用を助成します。</p>		
事業区分	地域支援事業 任意事業 その他の事業		
対象者	判断能力が不十分または欠く者で後見人が必要な者	開始年度	2007(平成19)年度
事業関係者	霧島市成年後見センター（霧島市社会福祉協議会）		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
市長申立て件数	7件	10件	

6 保健福祉事業等

(1) 家族介護用品支給事業

事業概要	要介護3以上の者または重度心身障がい者を介護している者（市民税非課税に限る）に対し、家族の経済的負担の軽減のため、月額6,000円（要介護度4、5）と月額4,000円（要介護度3【全介助に限る】、重度心身障がい者）の介護用品給付券を支給することで、介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図ります。 引き続き、在宅介護者の負担軽減の一助として継続して実施します。		
事業区分	保健福祉事業（65歳以上）	社会福祉総務費事業（それ以外）	
対象者	重度要介護者の家族	開始年度	2006(平成18)年度
事業関係者	———		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
世帯数	70件	76件	

(2) 高齢者福祉手当事業

事業概要	長期間にわたり在宅において常時寝たきりや重度の認知症の高齢者を介護している方に対し、その労をねぎらうため、福祉手当（月額3,000円）を支給します。		
事業区分	老人福祉費事業		
対象者	重度要介護者の家族	開始年度	2006(平成18)年度
事業関係者	———		
事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）	
受給者数	53人	60人	

(3) 食の自立支援事業（配食サービス）

事業概要	<p>身体・精神状態等により自ら買い物、調理が困難な状況の方を対象にして、1日2食、365日の配食サービスを提供し、栄養改善及び安否確認等を行います。</p> <p>今後も、民間配食サービスとのすみわけを進めながら、配食エリアを細分化することで事業者の参入を容易にするなど、継続して提供できるよう体制整備を図るとともに、関係機関と連携し、地産地消を取り入れたメニュー提供などに取り組みます。</p>		
事業区分	<p>保健福祉事業（65歳以上・地域生活配食事業） 社会福祉総務費 事業（65歳未満・自立支援配食事業）</p>		
対象者	日常的な見守りが必要な高齢者等	開始年度	1978(昭和53)年度
事業関係者	霧島市社会福祉協議会、社会福祉法人政典会、宅配クック123		
	事業評価指標（活動指標）	令和元年度実績	目標（見込）
	地域生活配食事業（65歳以上）	115,794食	120,000食

(4) 救急時情報提供書の活用

事業概要	<p>本市では、長寿・障害福祉課と消防局が連携し、救急時情報提供に承諾した要介護認定者の認定情報（認知機能レベル、持病、かかりつけ医など）を情報システム上で共有しています。</p> <p>これにより、救急出動した際に個人名などで検索することで、必要な情報を現地に到着する前に得ることができ、その後の対応がスムーズになります。</p> <p>今後は、長寿・障害福祉課が保有する認定者情報だけでなく、障がいのある方についても、情報共有ができるよう検討します。</p>		
事業区分	——		
対象者	市民	開始年度	——
事業関係者	消防局		